

船舶事故等調査報告書

平成25年10月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013長第52号
事故等種類	座洲
発生日時	平成25年4月21日 06時50分ごろ（現地時刻）
発生場所	中華人民共和国湖北省黄石市西塞山区 長江DAOSHIFU危険物積載船錨地付近 （概位 北緯30°12.9′ 東経115°11.8′）
事故等調査の経過	平成25年6月18日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	液化ガスばら積船 オーシャンフェニックス、2,948トン 136922、東洋マリン株式会社、第一マリン株式会社、第一タンカー株式会社
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海） 水先人（中華人民共和国籍）、免状不詳
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長ほか13人が乗り組み、水先人が水先を行い、長江の危険物積載船錨地（以下「本件錨地」という。）を抜錨し、真方位約350°の針路及び約3ノットの対地速力で手動操舵によって航行中、平成25年4月21日06時50分ごろ本件錨地付近の浅所（以下「本件浅所」という。）に乗り揚げた。 本船は、1番バラスト水を排水し、船首スラストを使用して離礁を行い、船体等に異常が認められなかったことから、中華人民共和国武漢港へ向けて航行を続けた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	本船は、本インシデント発生時、液化エチレン約1,591M/Tを積載し、喫水は、船首約5.1m、船尾約5.2mであった。 船長は、本件錨地付近を航行するのは初めてであり、中国版海図（2008年）を使用していたが、本件浅所が記載されていなかった。 本件錨地付近では、約10隻の浚渫船が浚渫作業を行っていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与	あり なし なし

判明した事項の解析	本船は、長江の本件錨地付近を北進中、本件浅所を把握できなかったことから、本件浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、長江の本件錨地付近を北進中、本件浅所を把握できなかったため、本件浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 航行予定水域については、最新の水深情報を入手し、浅瀬に接近しないようにすること。